

政務活動費活動報告（視察）

(1) 出席者（会派名・個人名）

「第34回北方領土視察団」30名（内彦根市議会より6名参加）

会派・夢みらい3名 安藤博・夏川嘉一郎・矢吹安子

実施日：平成28年10月25日（火）～平成28年10月28日（金）

【1. 調査の目的】

(1) 視察地

根室市～北海道庁

(2) 現地の実情（北方領土返還先駆地）

根室市・北海道等。四島返還運動先駆地の実情やロシア実行支配に関する動向等、各種情報の把握

【2. 調査地選定理由】

(1) 先進地の視察条件

根室市は、北方四島返還の隣接地であり、北方領土返還要求運動の拠点である

【3. 調査結果】

(1) 内容（行動概要）

■10月25日（火）、移動は飛行機とバス

滋賀県庁前 [7:30] ～伊丹空港～羽田空港～中標津空港を経て、根室市資料館視察～根室市民との交流会、市内（泊）

・根室市民との交流会では、熱烈な食事歓迎の中、食卓を囲んでの和やかなひと時を過ごす。（話題は、主に四島返還に関する根室の近況や安倍首相とプーチン大統領との日ロ会談等が主な内容。）

■10月26日（水）、移動はバス

根室～納沙布岬（四島のかげ橋・北方館・望郷の家）～北方四島交流センター
海上保安部（巡視船「くなしり」に乗船）～根室市内（泊）

・北方四島交流センターでは、元島民の講話を聞く（終戦当時の島の実情等々）
・巡視船「くなしり350t」で境界水域ぎりぎりまでの洋上視察（船の機能説明有。）

■10月27日(木)、移動は飛行機とバス

波が高く船での国後島洋上視察は、中止となった。～根室市内視察～中標津空港～新千歳空港～北海道庁訪問～札幌(泊)

- ・夕刻、北海道庁を訪問し意見交換が実施された。(主な話題は日ロ会談の予想や若者に対する領土教育問題等)

■10月28日(金)、移動は飛行機とバス

札幌～札幌市内視察～新千歳空港～伊丹空港～滋賀県庁(17:30)

(2) 考察

今回の北方領土返還要求運動滋賀県民会議の視察は、4日間とも晴天に恵まれたこと、また、初めての試みとして海上保安庁巡視船による洋上視察が加えられたこと等、更には参加団員間や視察先(根室市～北海道庁)の人々との友好や、信頼関係の輪が一段と広がったこと等々、概して有意義な視察であったと自負している。

さて、北方領土問題に関しては、今回の訪問で長期に亘り領土返還の先導的役割を果たして来た根室市も急速な高齢化(元島民が3割程度に)等で厳しい状況下にあることを痛感。さらに、北海道全体も含め若干の疲れが感じられたのも気になる所ではある。

また、道庁での意見交換会において、ある道庁議員は、若者の無関心が広がっている。国に正しい領土教育を要請しているが、よい反応は感じられず残念と発言していた。後で考えるに、これは全国の地方自治体にも向けられたオファー(要請)ではなかったかと推察する。

何れにしても、この北方領土返還視察に参加した我々彦根市議会議員は、視察を単なる視察旅行に終わらせることなく、少なくとも「返還運動の輪を広げる小さな核」を目指すべきではないかと考える。兎に角、まずは12月15日の日ロ会談を見守りたい。

平成28年11月10日

報告者 夏川嘉一郎(代)